

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)		コンビニ（店長）	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは大型連休だったこともあり、人出が多く、街道沿いの店舗の売上が良い。また、今月は前年よりも気温が低いものの、雨や荒天が少なく、来客数は前年を上回っている。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・国内団体旅行の予約が好調である。1日ごとに団体旅行の問い合わせが増えてきている。また、海外旅行もハワイ、ヨーロッパ方面の予約が増えてきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は地元で大きな祭りや学会があったため、人の流れがとて良い。客も景気が悪いという話はしておらず、景気が良いと実感している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・良い天候に恵まれており来客数が増えている。特に飲食関係が上向いているように見受けられる。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年に入ってから低調で推移していたが、今月は来客数が前年を若干上回っており、単価も安定している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・長く低迷していた婦人服の売上がほぼ前年並みに戻ってきている。宝飾品、ブランド品などの高額商材についても動きがあり、店外催事でも100万円以上の高額商材が売れている。食品もイベントが好調で東京からのお取り寄せ商品などが人気である。ただし、ゴールデンウィークは日まわりが良く旅行需要が高かったせいか、来客数、売上共に前年比マイナスで終わっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年よりも暑くなる日が早く、ソフトドリンクの売上が伸長している。地元の祭りでも好天に恵まれ人出が多く、飲料関係が良く売れている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・次世代たばこの販売が好調であり、焼鳥やコーヒーなどのカウンターフーズも販売量を大きく伸ばしている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候に恵まれ、外出する機会が増加しているのか、東北全体で来客数の増加がみられている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・春物商材に加えて、ゴールデンウィークを境に前年よりも高い気温で推移していることで、カジュアル衣料を中心に夏物商材の売上が安定している。また、クールビズを意識した、ビジネス用途で着用できる商品へのニーズが高まっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は来客数の動きが良く、3月の歓送迎会シーズンが過ぎた後の月としてはまあまあであり、良い方向に向かっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・周辺の新しい施設の影響により、宿泊部門の稼働率は落ちているものの、宴会部門、料飲施設は売上、来客数共に伸びてきている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・個人客の掘り起こしのために訪問開拓営業を進めている。これにより、徐々にではあるが契約数が伸びてきている。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは曜日まわりが良く、近年にないくらいに天候に恵まれた。その後の週末の天候不順や、学校などの団体客の動きに鈍さがありつつも、来客数は悪かった前年を上回っている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・需要の動きが止まっていたロードサイド店に動きが出てきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの来街者は例年並みであり、サービス店、飲食店共に来客数に大きな変化はみられてない。週末のイベント関係は好天に恵まれて客足を伸ばしているが、全体的に客単価が低下していることから、売上を押し上げるまでには至っていない。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・全体的な数字は前年に届いていないものの、スタッフの努力で客単価が非常に良く、なんとか前年比5%の減少でとどまっている。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較して、全体的に良い状態が継続している。買上点数が1～2点ほど増えており、通常であれば売上が減少傾向にあるゴールデンウィークでも、前年比105%を計上している。	

一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークに大きなイベントがあるため、売上の増加に期待をしていたが、今月は特に旅館関係への販売量が振るわなかった。観光客はイベントには訪れるものの、宿泊は別の場所に移動したり、宿泊しても家族などの小グループが多く、宴会の需要が少ないためアルコール類の販売量が低迷している。そのため、売上は3か月前とあまり変わっていない。
一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・夏物商材の購入にはまだ早く、カーテンの受注も落ち着いてきており、客の買い控えが続いている。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・低額商材の動きが非常に悪く、販売量は減少傾向にある。しかし、高額商材に動きがあるため売上は確保できている。
百貨店（総務担当）	単価の動き	・高単価なものは売れるが、低単価商材に対する来客数は減少しているなど、目的買いに近い状態である。一般的な消費に対する景気に変化はない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏を迎えるが、アパレルの動きが鈍く単価も上がらない。3か月前と比べてもトレンドの推移に変化はない。食料品に関しても同様である。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・イベントなどで動員を行った場合を除いて、フリー客や新規客が大幅に増加することはない。顧客の来店、まとめ買いの有無によって売上が左右されている。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・少しずつ店頭で新規客が増えてきているものの、客単価は上がっていない。また、目的買いが中心となっているため、消費に力強さが無い。
スーパー（経営者）	単価の動き	・5月の平均単価の前年比は前月より1%ほど回復しているものの、依然として前年同月を下回っている。来客数及び買上点数は横ばいであり、ほとんど変化はみられていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・競合店の出店により、若干の来客数減少がみられている。また、それ以上に大幅な客単価の下落が発生している。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は若干減少しているものの、その分客単価が増えているため、売上は前年並みとなっている。
スーパー（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数があまり伸びていない。また、それ以降の来客数と客単価も前年を下回っている。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・4月は日曜日が前年よりも1日多かったこともあり、既存店の来客数が前年比100%であるのに対して、買上点数、客単価共に104%と大きく数値を伸ばすことができた。ただし、5月はその反動で97%台と低調に推移している。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数、客単価共に落ち着いてきており、売上の前年比も100%前後で推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数は例年と比較しても良かった。ただし、それ以降は来客数が減少しており、全体的に売上も通常に戻りつつある。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前から来客数の前年比に変化がない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今年は、前年に開催しなかったキャッシュバックセールを行って、やっと前年並みの売上を維持している。何かのメリットがないと買ってもらえない状況である。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは好天に恵まれ、観光地の人出は例年より多かったものの、当社の売上には結びついていない。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・イベントの時はある程度の売上があるが、日々の売上はまだまだ伸び悩んでいる。気温がまだ不安定なため、年配客は夏物を購入しようとしにくい。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・レジャーや学校行事で需要のあるアウトドア関係商材の動きが悪い。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・夏物商材の動きが例年より遅れており、前年比に影響が表れている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車が古くなっても、買換えではなく修理をして乗り続ける客が多い。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは商店街でイベントがあり、多くの人出があったものの、店舗には来客がなかった。そのため、全体として売上は前年並みである。

その他専門店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークはますますであるが、観光、物産関係は厳しくなっている。飲食店も、一部の繁盛店で一定の売上が出ているものの、地元の人口などの要因を考えると、地元以外での販売を視野に入れる必要がある。
その他専門店 〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは好天で気温が高く、買物よりも行楽へ出かける人が多く見受けられている。
その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・6月1日の衣替えに向けて、引き続き受注状況は好調である。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・灯油、軽油における配達の販売量は順調であり、前年を上回っているものの、価格は横ばいで推移している。後継者不足による同業者の廃業が2件続いており、販売量の増加はその影響である。このような状況がここしばらく続いている。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量は大きな変動もなく推移している。
高級レストラン （支配人）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後に施設周辺でイベントが開催されており、利用客を見込んでいたものの、客の動きは前年並みで推移している。また、他社の施設でも同様の状況である。
一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・相変わらず客の財布のひもが固い。コースのなかでも一番お手頃なものを選ぶ客が多く、ランチタイムでも最近は新しい客が増えていない。なかなか厳しい状態が続いている。
一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・今月は各業界の総会が多く、人の流れが良い。ただし、地元の人の動きは鈍いため、全体としての景気は横ばいである。
観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・宿泊客数が伸び悩んでいる状態が続いている。
観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・来客数が横ばいの状態が続いている。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後に来客数が減少しているものの、例年どおりの動きである。
観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けということもあり申込件数が落ちているものの、例年並みの動きである。
都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・ゴールデンウィークによる一般宴会の不振を危惧していたが、意外に単価も落ちることなく、持ち直している。また、宿泊も相変わらず好調であり、大きな大会がらみの宴会も催されており、思ったよりも良い状態である。婚礼はじり貧気味であるものの、全体的な数値としては横ばいで推移している。
都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・販売量の動きに変化がない状態が続いており、景気に停滞感がみられている。
都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・今月のレストランの来客数は前年と比較して10%落ち込んでいる。ただし、前月は10%の増加であり、景気が良いのか悪いのか判断できない。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ネットを含む旅行業界の景気はややよくなっている傾向にある。ただし、実店舗販売が主力の当社については、横ばいの状態が続いている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・北朝鮮を始めとした世界情勢不安に、収束の見通しが立っていない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・急激な売上の変化はなく、小売業、卸業、製造業などは横ばいで推移している様子である。また、売上を増やすためには人員を増やさなければならないため、先行投資ができない状況とも聞いている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・3か月前と比較しても販売量に変化はない。プレミアムフライデーの経済効果も、一部の会社に限定されている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・コスト削減要求ばかりであり、新サービスが売れない状態が続いている。
観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、曜日まわりや天候に恵まれて、最近としては良い数字となっている。ただし、その後は前年並みもしくは若干低い数字となっている。

観光名所（職員）	お客様の様子	・天候に左右される部分はあるものの、来客数に大きな増減がない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・今年に入ってから、常連客の再来店率はほぼ100%であるものの、新規客の再来店率は90%前後が続いており、依然として厳しい状態が続いている。
美容室（経営者）	単価の動き	・4万円ほどする高価なドライヤーでも、髪に良いものであれば売れている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客層は年配者が多く来店間隔が長い。また、毛染めなどはドラッグストアで安い商品を買って、自分で染めている様子である。
その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・塗装など主力工事の受付は増えてきているものの、受注工事自体は前年並みである。
商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後半は天候に恵まれたが、駅ビルの改装オープンもあり、商店街への客足は伸び悩んでいる。
百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・駅ビルが改装しオープン当初は来客数も多かったが、話題性が大きかった割には数日までにざわいが落ち着き、以前と変わらない来客数に戻りつつある。予想した当社への影響は少なかったものの、来客数、売上共に厳しい状況に変わりはない。
百貨店（買付担当）	販売量の動き	・衣料品の動きが鈍く、特にフリー客の売上が厳しい。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・特に週末や祭日の来客数が減少傾向にある。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・スーパー、コンビニ各社が日用品の値下げを進めている。客は財布のひもが固く、買い回る傾向にある。
スーパー（店長）	販売量の動き	・以前はざりざり前年並みを維持していた売上が、最近では若干ではあるものの前年を下回っている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・3月の競合店オープンにより、来客数が減少したものの、当初の予測よりも少ない落ち込みで推移している。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・客は目的買いがほとんどであり、衝動買いはかなり少なくなっている。数か月前よりも景気は悪くなっている。
コンビニ（店長）	単価の動き	・首都圏では一食完結型サラダが売れているが、地元ではそのような単価の高いサラダは売れていない。客は低単価なものを買って賢く節約をしており、景気が悪いという印象を受けている。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・今月上旬の天候不順の影響なのか、スーツを購入する客が前年と比較してかなり落ち込んでいる。今年はゴールデンウィークが長く、そちらに予算が回ってしまったのか、客は高額な買物に対してかなり慎重になっている。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降は、天候の影響もあってクールビズ需要が盛り上がりせず、来客数が大幅に減少している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー減税の厳格化と新型車イベント前の影響により、新車販売数が低調である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・6月と9月に売れ筋車種の発売が控えており、買い控えの動きがみられる。また、全体的に盛り上がり感がない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量の前年比が減少傾向にある。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・土日の来客数が減少している。また、既存客による買換えもかなり減少している。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・今月は受注残が少なく、販売量が落ち込んでいる。
高級レストラン（経営者）	単価の動き	・市場がどんどん縮小しており、非常に厳しい状況が続いている。特に地方の飲食業は苦戦を強いられている。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークまでは特に問題はなかったが、それ以降の売上が減少しており、当店周辺の景気はやや悪くなっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、前半は良かったものの後半に落ち込み、連休明けも良くない状態である。25日前後に一度盛り返したが、月前半の悪さをばん回できず、全体としてはやや悪いという印象である。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・プレミアムフライデーの効果はなく、レストラン、宿泊などの個人利用は減少傾向にある。また、法人の宴会需要も前年を下回っている。

	旅行代理店（店長）	販売量の動き	・国内の景況感が良くない。また、海外情勢の不安もある。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ3か月の来客数は減少傾向にある。また、毎年の傾向ではあるが、購入単価も減少している。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・来客数はあるものの、成約率や成約金額が低調であり、景気に鈍さがみられている。
x	商店街（代表者）	来客数の動き	・特に土曜日は商店街に入通りが少ない。
x	一般小売店〔書籍〕（経営者）	来客数の動き	・実店舗の売上を押し上げるような話題に乏しく、消費マインドが高まっていない。加えて、ネット通販が好調であり、ポイントなどの整備も進んでいるため、実店舗の業績は厳しい状況が続いている。
x	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降、客足が戻らず、来客数の減少が続いている。
x	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は来客数が非常に少なく、売上も減少している。ゴールデンウィークで観光に意識が向いており、仏具などを購入するマインドではなかったのではないかと。
企業 動向 関連 (東北)	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・復興関連の大型公共工事の発注、受注が確定してきており、3か月前と比較すると景気は上向いている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元で祭りや大きな学会があったため、お土産関係の動きが良い。ルートによっては売上が厳しい店もあるが、駅関係の店舗が特に良い状態である。
	出版・印刷・同 関連産業（経 理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は売上が前年を10%ほど下回っていたが、今月は前年並みに売上が改善してきている。
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新規の見積案件が出てきている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は順調に推移しており、施工計画をしっかりと立てないと、工期に間に合わないという状況である。
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・公共工事請負、一般設備投資共に前年を上回るペースで推移している。小売においても、自動車販売が前年を上回るペースを維持している。
	広告代理店（経営者）	それ以外	・インバウンド系、DMO系の相談が増えている。
	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークから、住宅会社である地場工務店関係の内覧会、チラシなどの相談が増えてきている。
	農林水産業（従業員）	それ以外	・農機具を買換える農家が目立っている。
	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・受粉期の晴天によりさくらんぼの豊作が期待されるものの、逆に価格下落の可能性を懸念している。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は前年と比較して売上が良い状態である。ただし、景気が上向いているのではなく、ゴールデンウィークの曜日配列が良かったことが要因である。
	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、厳しい状況に変わりはない。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅部材の需要が減少している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先企業の受注状況は好調であるが、人手不足が常態化している。
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・条件付きの入札が多くなりつつあり、落札が困難なケースが増えてきている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・個々の会社において、中小企業に優遇される法律や政治の影響はない。よって、地方、中小企業の体力は上がっておらず、消費の拡大につながっていない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・設備投資の話が徐々に出てきている。また、引き続き住宅需要も好調である。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・電子機器、機械関連のOEM企業の受注状況に、特に変化はない。
	公認会計士	取引先の様子	・建設関係は前年と比較して売上が減少している。利益も減少傾向にあるものの、一定の利益を確保している企業が多い。また、小売業、サービス関係も前年比において売上が減少している企業が多いが、利益は増加傾向にある。
コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・来客数は大きな変動もなく推移している。	

	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・客の状況を聞くと、飲食店、美容室、建設などは、 景気が悪い様子である。
	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・前年同月と比較しても出荷量が10%程度減少してい る。
	輸送業（経営 者）	取引先の様子	・工場閉鎖により物量の動きが予想しにくい状況にあ るが、当社への影響は徐々に表れている。
	広告業協会（役 員）	それ以外	・事業所の閉鎖や事業規模の縮小などが続き、地元の 広告業界は非常に厳しい状況にある。広告主の減少、 競争の激化により、採算がとれない事業所の閉鎖が出 てきている。
	その他非製造業 〔食料品卸売 業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先からは、来客数は横ばいであるものの、買上 点数や単価が下がっているとの話を良く聞く。このこ とから、景気が良くないことを実感している。
	x	*	*
雇用 関連  (東北)	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・企業全体に人手不足感が強まっている。今まで中途 採用を優先していた企業が、派遣社員を活用し採用 チャンネルを拡充するといった新規案件が発生してい る。また、派遣オンリーの企業でも、増員ペースを早 めるため紹介あっせんを当社に発注するなど、業績は 上向いている。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人倍率は高止まりであり、企業の採用が難しく なっているなか、採用に費用をかけるケースが増えて いる。営業職や各種エンジニアなどの専門職といった 幅広い職種での募集が増えている。
	職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・大型店舗の出店、コンビニの出店が多くなってい る。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・人手不足を反映して、6月からすでに大学3年生の インターンシップの準備を始める企業が、例年よりも 増えている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・企業からの求人がやや伸び悩んでいるが、それ以上 に求職者と求人とのミスマッチが多い。空前の人手不 足を背景に、求職者の選り好みが増えている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・企業の採用意欲、また、求人状況について大きな変 化はない。
	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・復興需要が落ち着いても人手不足の状態は続いてお り、県外への就職傾向が加速している。
	職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・企業の採用意欲は高いものの、労働人口の不足によ り労働者数が増えていない。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・人手不足感から募集は引き続き堅調に推移してい る。また、社員が離職しないような処遇改善や正社員 募集も前年を上回っていることから、現状に大きな変 化がない。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数は、前年同月比で減少となっているが、更新 時期のタイミングもあり特徴的な要因はみられず、業 種によっては人手不足が続いている。求職者も前年同 月比で減少、在職者、会社都合離職者、自己都合離職 者共に減少しており、募集条件に対し慎重さがうかが える。
	学校就職担当者	求人数の動き	・求人獲得数は前年同時期と比較して微増状態であ り、さほど大きな変化はみられていない。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度切替えの時期が過ぎ、企業は落ち着いている様 子である。新卒採用も配属されており、求人の動きが 鈍い印象である。
	アウトソーシ ング企業（社員）	それ以外	・需要と供給のバランスが崩れており、値上げをしま いところだが、取引先の予算は増えないままである。
	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人数はこれ以上減少することはないとみているも の、低迷状態が続いている。正社員の募集がほとん ど無くなり、契約社員の募集が増えていることや、募 集条件の良い首都圏に人が流れてしまうため、地方は 慢性的な人手不足となっている。
職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数が減少してきており、募集人数も最小限に 絞っている事業所が多く見受けられている。	
x	*	*	*